

宇城医療圏両医師会理事会での協議結果

宇土地区医師会理事会開催日時

- ①令和元年（2019年）10月17日（木）20:00～20:30
- ②令和元年（2019年）11月21日（木）

下益城郡医師会理事会開催日時

- ①令和元年（2019年）10月15日（火）20:00～21:00
- ②令和元年（2019年）11月11日（月）20:00～20:45

宇城医療圏の外来医療機能について

序文：この地域の医師の高齢化、それに伴うマンパワーの低下が、将来に向けて宇城医療圏の外来医療機能について極めて憂慮される状況にある。

1 夜間・休日の初期救急について

(1) 現状

当医療圏の初期救急は熊本中央救急医療圏に属している。次のデータは当医療圏（宇土市、宇城市、美里町）のみ。 ※救急医療提供体制現況調べ（初期救急医療機関）

項目	データ
① H29 年度年間救急患者数（在宅当番対応時間内）	10,369人
② H30.4.1 現在 在宅当番医数	67 医療機関

(2) 目指すべき方向性

① 初期救急に対応する医師

現状では、初期救急について、医師の確保はできているものの、初期救急患者の増加に伴い負担が大きいため、新規開業を行う医師に協力を要請する。また、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

② 初期救急に対応する医療機関

当医療圏では、67 医療機関が宇土市、宇城市（旧不知火町、旧三角町）、宇城市（旧松橋町、旧小川町、旧豊野町）及び美里町ごとに在宅当番医制をとり地域の初期救急を担っているが、負担が大きいため、当医療圏又は熊本中央救急医療圏に属する医療機関により共同で行う。

2 公衆衛生分野について

(1) 現状

項目	データ
① R1 年度 学校医 ※県教委及び医師会提供	45人 (37校)
② H29 年度 予防接種を実施する医療機関(市町村委託) ※くまもと医療ナビデータより	64 医療機関
③ R1 年10月時点 産業医 ※県医師会が日医から入手し提供	56人

(2) 目指すべき方向性

① 学校医

現状では、学校医について45人の医師が対応しており、医師の確保はできているが、高齢化及び医師の負担が大きいため、新規開業を行う医師に協力を要請する。また、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

② 予防接種を実施する医療機関

当医療圏では、64医療機関が予防接種を実施しており、医療機関の確保はできているが、新規開業を行う医師に協力を要請する。また、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

③ 産業医

当医療圏では56人の医師が産業医として登録されているが、資格の維持が困難なため、新規開業を行う医師にも協力を要請する。また、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

3 在宅医療について

(1) 現状

項目	データ
H27～H30年度 在宅医療を実施する医療機関 ※地域包括ケア「見える化」システムより	41医療機関

(2) 目指すべき方向性

現状では、在宅医療について41医療機関が対応しているものの、今後も在宅医療の需要が一層高まることが予想され、現在の各医療機関の在宅医療への対応は継続するが、在宅医療に対応する医師はまだ少ないため、新規開業を行う医師に協力を要請する。また、既に開業している医師にも引き続き協力要請を行う。

4 医療機器の状況

(1) 主な医療機器の配置状況

※H30年度 病床機能報告

機器名	保有台数	機器名	保有台数
CT	7台	マンモグラフィ	4台
MRI	3台	リニアック	0台
PET	0台		

(2) 目指すべき方向性

現状においても、宇城総合病院（地域医療支援病院）及び熊本南病院で医療機器の共同利用を図っている。

引き続き、地域における共同利用を進めるとともに、(1)にあるような高額な医療機器については、購入、更新等の場合には、地域医療構想調整会議で協議を行うこととする。